



広報



ひろさき

編集発行 弘前市市民環境部広報広聴課 No. 120

平成23年
(2011)

2月15日号

特集

■子どもには苦しい表情は見せられん！

旧正月に当たる2月3日、鬼神社（鬼沢字菖蒲沢）で五穀豊穰（ほうじょう）・家内安全を祈願する「しめ縄奉納裸参り」が行われました。締め込み姿の34人の男衆が身を清めるため、冷水の張ったたるに次々と飛び込むと、集まった地元の子どもたちや住民から大きな歓声が上がっていました。

紹介します！^{まち}わが地域の公民館 …… P. 2

●市 政／わたしのアイデアポスト

都市計画法と開発許可制度 ほか …… P. 5

●健 康／子どもの予防接種週間 ほか …… P. 7

●お知らせ／催し、教室など …… P. 8

環境ニュース



清水公民館

▶小沢字御笠見 46 の 10 (☎ 88・2110)



小沢運動公園に隣接する当公民館では、公民館と公園を利用した事業が実施されています。桜とりんごの木に囲まれた公園で、四季折々を感じながら運動ができる環境は、自然と和やかな気持ちになります。公園を利用した事業は、次のとおりです。

5月…グラウンドゴルフを楽しもう／7月…防犯健康駅伝／8月…小沢運動会／9月…三世代交流グラウンドゴルフ大会／10月…公民館まつりグラウンドゴルフ大会・体協グラウンドゴルフ大会

このほか、公民館には少年・青年・家庭教育学級・高齢者教室・女性教室があり、各種講座・料理実習などを実施しています。

石川公民館

▶石川字石川 114 の 1 (☎ 92・3405)

当公民館は、弘前市の東南端に位置する、笑顔行き交う地域コミュニティの場です。地区にある温水プール石川を活用した小学生対象の初心者水泳教室など、毎月さまざまなニーズに応じた各教室や講座を行っています。いつまでも“公民館に行くとなんとかなる”と子どもから大人まで気軽に立ち寄れるような、地域を応援する公民館であり続けたいと思っています。



堀越公民館

▶門外 2 丁目 3 の 11 (☎ 27・2635)



当公民館は、昭和 32 年に旧出張所を利用して創設され、昭和 58 年 2 月に移転・新築し、現在に至っています。この間、地域が一体となって、創意工夫をしながら「つどう」「まなぶ」「むすぶ」を実践することにより、地域の皆さんの心のよりどころとして定着してきました。毎年開催される文化祭や成人講座・三世代交流事業、また、少年教育・高齢者教室・女性教室の各事業のほか、各サークル（現在 8 サークル）が毎週定期的に活動していますので、地域の皆さん、気軽にお立ち寄りください。

千年公民館

▶小栗山字川合 115 の 1 (☎ 87・2130)

当公民館は昭和 29 年に千年村役場として新設され、市村合併に伴い、昭和 32 年に独立施設として改修され、現在に至っています。

広い敷地の正面入り口には「千代の松原」の数百本あった松のうち、現在ではただ 1 本の松（推定樹齢 300 年）だけが残し、利用者を優しく出迎え・見送りしています。

当公民館には 15 クラブと 4 教室の利用団体があり、毎日何らかの事業、行事が行われています。地域住民はもとより、近隣住民にも利用され、交流と親睦（しんぼく）向上の場として愛されています。



船沢公民館

▶折笠字宮川 95 の 5 (☎ 96・2323)



当公民館では、平成 21 年度、22 年度と世代間国際交流を行っています。本年度も 7 カ国の弘前大学留学生を迎えて行われました。

日本に来て、文化の違いを知ってもらいたいとの趣旨のもとで、子どもからお年寄りまで一丸となり、グラウンドゴルフ、流しそうめんの体験、5 本綱引きゲーム、各国の紹介などが行われ、国際的な交流の場となりました。驚いたことに、留学生たちは日本語がとても上手で、違和感なく和気あいあいとしたムードの中で事業が進められ、次年度につながっていくことを確信しました。

東目屋公民館

▶中野字中豊田 20 (☎ 86・2112)



当公民館は平成 11 年、現在地に移転・新築となり、当時の公民館としては珍しく体育館も設置され、地域住民を中心に大いに利用されています。各町会公民館長、婦人部を実行委員に開催される文化祭はもとより、最近では弘前大学医学部との連携事業を開催するなど、いろいろな事業を展開し、地域の皆さんからは大変喜ばれています。目屋バイパス沿いにあり、東目屋出張所に隣接し、東目屋ふれあいセンターとしても親しまれています。

和徳公民館

▶大久保字沼田 204 の 3 (☎ 36・4747)



当公民館は、城東小学校、J R 撫牛子駅と共に和徳地区でよく利用されている公共施設の一つです。地区には昨年、弘前免許センターが開設され、また、福祉施設が新設されたことで、行き交う利用者や交通量も増え、にぎわいを見せています。「集い」「ふれあい」「学びあい」を目標とする当公民館は、学社連携、世代間交流事業を積極的に行い、住民とのきずなを深めています。特に、先駆事業としての移動学習「歴史探訪（史跡巡り）」は、長年地域に愛されてきました。近年、郷土出身の偉人や作家を中心とした文学史に親しみ、充実した自慢の生涯学習活動を行っています。

東部公民館

▶末広 4 丁目 10 の 1 (☎ 27・5800)

当公民館は総合学習センター内にあり、管内人口が全地区公民館の中で最も多く、豊田小、東小、福村小学区の約 2 万 2,000 人を対象としています。少年・青年事業として木工教室や調理実習、パソコン講座などがあります。女性教室では月 1 回、「祈・交通安全」のマスコット 300 個を目標とした制作活動を、高齢者向け「寿大学」ではグラウンドゴルフやペタンク、地域の歴史探訪などの活動をしています。クラブ活動も活発で、エアロビクス、陶芸などのクラブが 20 以上あります。



当市には中央公民館が 3 館（中央公民館、中央公民館岩木館、中央公民館相馬館）と地区公民館が 12 館（東目屋、和徳、東部、清水、石川、堀越、千年、船沢、高杉、裾野、新和、藤代）あり、各館ではいろいろな講座や教室を通じて地域づくり・人づくりを進めています。中でも、それぞれの地域に密着した公民館活動をしている 12 の地区公民館は地域の皆さんの信頼も厚く、文字どおり地域の公民館となっています。

今回はこの 12 館を、それぞれの公民館スタッフが書いた紹介文を通じてまとめて紹介します。

いただいたご意見・ご提案

11月24日の弘前大学公開講座津軽学弘前城築城400年に向けてのフォーラムで、修復のため天守閣を本丸中央に移動し、その間約20年間は元の位置にないのを知りました。

調査にあまり期間を掛けすぎると、桜と城のイメージで観光客を引き寄せている弘前さくらまつりは崩壊する可能性があります。新幹線の到来のチャンスと同時にイメージの消失となれば津軽のパワーポイントは消えうせることになるでしょう。できれば、さくらまつり期間中は元に戻し、作業をすることを希望します。

そうでなくても、気候変動で桜の開花期間の気になるこのごろなのに。

わたしのアイデアポスト

市役所総合案内所

岩木総合支所総務課

相馬総合支所民生課

市民課駅前分室

市民課城東分室

東目屋出張所

船沢出張所

高杉出張所

裾野出張所

新和出張所

石川出張所

「わたしのアイデアポスト」は、市の広聴事業のひとつとして、市政に関するご提案やご意見を多くの皆さんからお伺いし、市政運営に生かすことを目的に実施しています。

現在、上記の11カ所にポストを設置していますので、備え付けてある用紙に提案などを記載して投書してください。また、インターネットやファクス、郵送でも受け付けています。

■わたしのアイデアポストについての問い合わせ先 広報広聴課広聴係（〒036・8551、上白銀町1の1、市役所2階、窓口258、☎35・1194、ファクス35・0080）

市の回答

現在、弘前城の石垣は、一部はらみ出し（ふくらみ）が大きくなってきており、また、天守も少し傾いた状態にあります。このため、大きな地震などがあった場合、崩落の危険性があり、早急な改修が必要とされています。

このことから、市では文化庁の指導により、平成19年度から本丸の石垣修理のため、さまざまな調査を実施していますが、弘前城が国指定史跡であることや石垣も江戸時代からのものであることから、修理に当たっては、随時、発掘調査をするなど、数多くの調査や史実に基づく工法の検討が必要になり、相当の期間を要します。

石垣全体の修理には、約20年の期間が必要であるとしていますが、施工区域を分けて施工するとともに、天守については、公園利用者や観光客への影響を考え、解体しないそのままの状態での移動から、石垣修理後の現在の位置への復元までを約6年間の最小限の期間で計画しています。また、石垣修理期間中には、その修理状況や発掘などの状況を公開するほか、移動後の天守は内部を公開することも検討していますので、ご理解くださるようお願いいたします。

高杉公民館

▶独狐字山辺72の1（☎95・2336）



高杉地区には中央衛生センター、瑞風園（温泉施設）、西部児童センター、高長根スキー場が設置されています。こ

れらは昭和55年度開発事業により建設されたもので、一地区にこれほど集約されている所はありません。当公民館では2年前から市の関連施設と相互理解を深め、交流を強化するため、共催事業の実施や情報提供に努めています。また、小学校の農産物の生産活動、中学校の学社融合事業にも取り組んでいます。経過は毎月発行している公民館だよりで町会民に周知しており、今後も地区の地の利を生かした交流に努める方針です。

裾野公民館

▶大森字勝山81の1（☎93・2810）



当公民館のある裾野地区は県道弘前～鰺ヶ沢線のほぼ中心にあり、りんごと米の農業地域です。当公民館ではさま

ざまな講座のほかに、弘前大学との連携事業として摘果りんご（捨てる実）のピクルスでハンバーガーやドライカレーを作るなど、摘果りんごのいろいろな料理への活用研究や、地域の施設との交流ボランティア活動などが活発に行われています。特に高齢者教室では、裾野中ボランティア隊の協力により、毎年8月に140人が参加する7町会対抗の運動会が開催され、高齢者とは思えないほどパワフルな様子に大きな盛り上がりを見せます。

紹介します！
公民館
わが地域の

新和公民館

▶種市字熊谷5の1（☎72・1517）



当公民館のある新和地区は、弘前市の北端に位置し、岩木川を挟んで板柳町、鶴田町と隣接した、りんごと米の農

業地域です。当公民館は新和出張所と併設しており、地域6町会の皆さんの世代間交流、生涯学習の拠点として、公民館まつりをはじめ各種の講演会など、地域活性化のために利用されています。少年・青年・女性・成人教育の領域に分かれてさまざまな事業、講座などを行っており、女性教室では料理教室、手芸講座、しめ縄作りなどを行っています。弘前大学との「地域づくり連携事業」は4年連続で行われ、学生が郷土料理のけの汁やくじらもちを材料から作って公民館まつりで振舞いました。

藤代公民館

▶八代町2の10（☎32・1977）



当公民館は昭和21年11月、県下の他市町村に先駆けて設置され、その後優良公民館として全国表彰を受けました。

藤代地区にある約3,100世帯の地域拠点として教育、学習、文化の向上を図り、地区民が気軽に訪れる場となっています。昨年開催された地区文化祭の芸能まつりには、約600人の観衆が集まり大盛況でした。文化祭の最後を飾る「生き生き講座」では石戸谷柝一さんの文化講演が行われ、過去最高の160人が参加しました。また、恒例の地区新年互礼会には今年、110人の参加者があり、地域のさらなる活性化を目指して気持ちを新たに親睦（しんぼく）を深めました。

まもなく刊行！

「新編弘前市史」
通史編 岩木地区

岩木町史編さん事業もいよいよ大詰めを迎えています。

昨年度末刊行の歴史・民俗資料をまとめた第一巻目『新編弘前市史 資料編 岩木地区』は好評のうちに完売となりました。

現在、この「資料編」に続く第二巻目（最終巻）『新編弘前市史 通史編 岩木地区』の編集作業を間もなく終えるところです。

この「通史編」は弘前大学人文学部教授・長谷川成一さん監修の下、県内有数の研究者の執筆・編集により、岩木地区の自然と歴史をできるだけ分かりやすくまとめたものです。

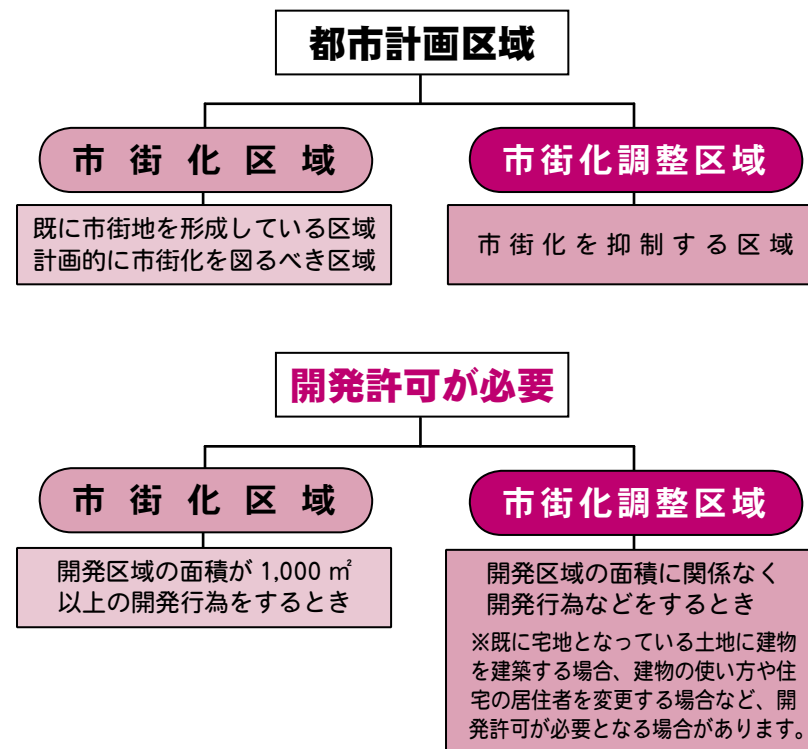
頒布開始は4月からの予定です。が、部数に限りがありますので、お早目にご予約ください。

▽体裁など A5判、上製本、約730ページ（うち、カラー図32ページ）

▽頒布価格 3200円（税込み）

▽問い合わせ・予約先 岩木総合支所総務課岩木町史編さん担当（☎821622、ファクス823118）

市民の良好な生活環境を保ち、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、市では都市計画区域を市街化区域と市街化調整区域に区分しています。この区分を確かなものにするため、開発許可制度が設けられています。



開発行為の規制

開発許可制度は、建物を建築する目的で土地の区画形質の変更（開発行為）といふ、農地に住宅を建築するなどをする場合などに適用され、許可が必要です（上図参照）。許可を受けずに開発行為をしたり、建物の使い方や居住者を変更したりしたときは、是正指導の対象となるほか、悪質なときは罰則の規定が適用される場合があります。市街化調整区域の土地を購入し、建物の建築を計画する場合などは、事前にお問い合わせください。

■問い合わせ先 都市計画課 開発指導係（市役所5階、☎ 35・1134）

弘前公園の園路整備について

お知らせ

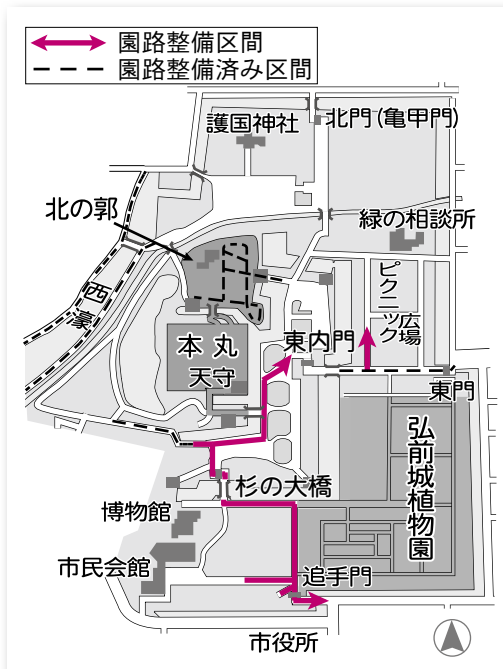
弘前公園では、利用者の通行の利便性を図るため、本年度から園路の整備工事を実施しています。整備方法は、景観に配慮した舗装材料を使用し、歩きやすく、公園と調和のとれたものとしています。

これまでに、東門付近、西濠（ぼり）および北の郭（くるわ）の園路整備を実施し、3月までは、追手門から杉の大橋を通り東内門までの区間（右図参照）を整備しますのでお知らせします。

なお、この整備で通行止めになる区間はありますが、公園の利用者のご理解をお願いします。

▽園路整備期間 3月31日まで（予定）

▽問い合わせ先 公園緑地課（☎ 33・8739）



健康相談

「生活習慣病の予防」「禁煙したい」「健診結果を詳しく知りたい」「健診受診後の生活について」など、健康や栄養に関して保健師や栄養士が無料で相談に応じています。

相談は予約が必要ですので、希望する人は事前に電話で申し込んでください。

▽3月の相談日 1日・15日の午前9時～午後2時

▽ところ 弘前市保健センター（野田2丁目）

▽予約受付時間 午前8時半～午後5時（土・日曜日を除く）

▽問い合わせ・予約先 弘前市保健センター（☎ 37・3750）

健康教室

～高血圧予防～

▽とき 3月8日・11日、午前10時～午後1時

▽ところ 弘前市保健センター（野田2丁目）

▽内容 おいしい減塩料理作り（わかめとショウガの混ぜご飯、具だくさんみそ汁、さんまのからし揚げほか）

▽定員 各日20人（先着順）

▽受講料 無料

▽持ち物 エプロン、三角きん、マイはし

▽問い合わせ・申込先 2月22日から、電話で弘前市民健康推進協議会事務局（弘前市保健センター内、☎ 37・3750）へ。

子ども 予防接種週間

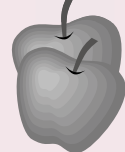
3月1日～7日は子ども予防接種週間です。

市医師会では、通常の診療時間内に予防接種が受けにくい人に対し、3月5日・6日に、定期の予防接種と任意接種緊急臨時特例交付金の対象であるヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がん予防ワクチンの接種を実施します。特に麻しん風しん混合ワクチンの2期（5歳以上7歳未満で小学校就学前の1年間）、3期（中学校1年生に相当する年齢の人）、4期（高校3年生に相当する年齢の人）の予防接種をまだ済ませていない人は、この機会に接種しましょう。

■実施医療機関・実施日・実施時間の問い合わせ先 弘前市医師会事務局（☎ 32・2371）

「ホットアップルジュース」

で体も心もホットに！



中南地域県民局では、温かいりんごジュース（ホットアップルジュース）の普及を進めています。

冷やして飲むイメージが強いりんごジュースですが、寒い季節に「ホット」でじっくり飲むと、体も心も温まります。この冬は家庭で新しい飲み方にチャレンジしてみませんか。

▽簡単な飲み方 カップや湯飲みなどに適量のりんごジュースを注ぎ、電子レンジで1～2分温めます。温めると風味（香りや甘みなど）が強調されるため、りんごの品種による風味の違いが感じやすい果汁100%ストレートタイプのジュースを特におすすめします。お好みでシナモンやショウガ、クリームなどを加えても違ったおいしさが味わえます。飲み方について分からないことがある場合は、お問い合わせください。同県民局ではこのほか、ホ

ットアップルジュース普及のためのネットワークづくりを進めています。農業・観光業・飲食業などを営む人で、商品としてホットアップルジュースの活用に興味のある人は、ネットワーク加入用紙や研究会の開催案内を送付します。皆さんから多数の問い合わせをお待ちしています。

▽問い合わせ先 中南地域県民局地域連携部地域支援室（☎ 32・2407、ファクス 32・2451、Eメール ch-renkei@pref.aomori.lg.jp、ホームページ http://www.pref.aomori.lg.jp/kensei/seisaku/chren_appleNet_1.html）



青年講座

新米パパの赤ちゃんレッスン
新米パパと未来のパパを応援
します！

▽と き 3月12日(土)
午後1時～3時
※会場には午後0時50分までにおいでください。

▽ところ 弘前文化センター(下白銀町)2階第1・2和室

▽内 容 お風呂の入れ方、抱き方・寝かせ方、ミルクの作り方、先輩パパの体験話など

▽講 師 三崎直子さん(弘前大学大学院保健学研究科講師)

▽対 象 市内および近隣地域に在住または勤務する、初めての子どもが生まれて間もない新米パパ(生後1か月以内)、または未来のパパ＝5人(先着順)

※おおむね18歳～40歳。

▽参加料 無 料

▽問い合わせ・申込先 3月11日までに、電話、またはファクスかEメール(住所・氏名・年齢・電話番号を記入)で、中央公民館(☎33・6561、ファクス33・4490、Eメール chuoukou@city.hirosaki.lg.jp)へ。
※火曜日は休館日です。

**三省地区交流
センターの教室**

【煎茶教室】
初心者の方も楽しく作法を学んでみませんか。
▽と き 3月11日・18日(計2回)、午前10時～正午
▽ところ 三省地区交流センター(二世寺宇鳴瀬)
▽内 容 煎茶(せんちゃ)道と作法を学ぶ
▽講 師 神翠宣さん
▽定 員 15人(先着順)
▽参加料 200円(お菓子代として)
※当日持参してください。
▽問い合わせ・申込先 3月5日までに、三省地区交流センター(☎95・3760)へ。
※月曜日は休館日です。

**裾野地区体育文化交流
センターの教室**

【料理教室】
▽と き 3月4日(金)
午前9時～正午
▽内 容 うどん作り(手打ちめん)
▽定 員 15人(先着順)
▽材料費 800円
※当日持参してください。
▽持ち物 エプロン、三角きん、ふきん
【茶道教室】
▽と き 3月4日・25日(計2回)
午後1時～3時

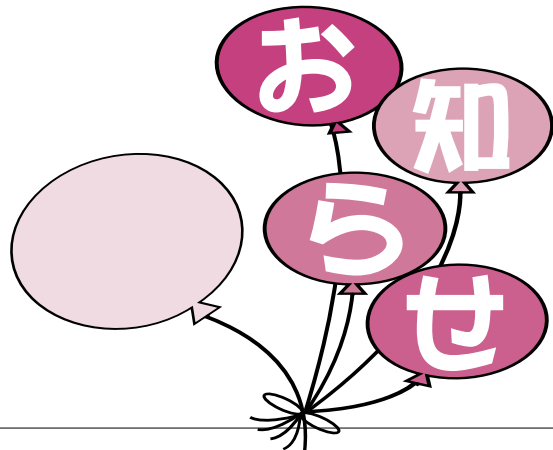
シニア体力アップ教室

冬場に落ち込んだ体力の向上を図り、屋外での運動に備えましょう。
▽と き 2月24日(木)
午前10時～正午
▽ところ 市民参画センター(元寺町)3階グループ活動室
▽テーマ 「仕事も楽しく、暮らしも楽しく」
▽講 師 石岡百合子さん(キャリア・デベロップメント・アドバイザー)
▽発表者 清野真由美さん(弘前こどもコミュニティ・ぴーぷる代表理事)／前田美代子さん(ウチゴハンのカフェ・リエゾン店長)／葛西けい子さん(さんかくネット子育てサポーター)／外崎睦美さん(会社員)
▽対 象 再就職を考えている女性Ⅱ20人(先着順)
▽参加料 無 料
※保育室を用意しますので、希望者は参加申し込み時に申し出てください。
▽問い合わせ・申込先 2月21日までに、市民参画センター(☎31・2500)へ。

▽と き 3月3日～24日の毎週木曜日、午前10時～11時半
▽ところ 克雪トレニングセンター(豊田2丁目)
▽内 容 タオルを使った体操、スロートレーニング、スロージョギング、ウォーキング
▽対 象 おおむね50歳以上の市民Ⅱ20人
▽参加料 無料(各自傷害保険などに加入を)
▽持ち物 フェースタオル、飲み物
▽申し込み方法 往復はがきに、住所・氏名・生年月日・電話番号・教室名を記入し、2月22日(必着)までに克雪トレニングセンター(〒036・8101、豊田2丁目3)へ。
※はがき1枚で1人までとし、応募多数の場合は抽選で決定します。
▽問い合わせ先 克雪トレニングセンター(☎27・3274)

**ファッション
デザイン画セミナー**

ファッションデザイン画のテクニクを初心者にも分かりやすく指導する、実技を交えたセミナーです。
▽と き 3月5日(土)
午前10時～午後4時
▽ところ 弘前商工会議所(上鞆師町)3階301室
【青森会場】
▽と き 3月26日(土)
午前10時～午後4時
▽ところ 青森市民ホール(青森市柳川1丁目)1階第一会議室
▽講 師 三上貴久さん(メゾン取締役社長兼ブランドプランナー)
▽対 象 県内に在住の中学生・高校生、一般
▽定 員 各50人(先着順)
▽受講料 500円(テキストト代含む、当日持参を)
▽持ち物 筆記用具(鉛筆、消しゴムなど)、画材(色鉛筆、絵の具など)、ファッション雑誌(デザイン画を描く際の参考資料として)
▽問い合わせ・申込先 ファッション甲子園実行委員会事務局(弘前商工会議所内、☎33・4111、ファクス35・1877)



催し
ふれあい高齢者
ゲートボール親善大会

冬期間の健康保持と参加者の親善を深めることを目的に開催します。

▽と き 3月26日(土)
午前9時～午後5時
▽ところ 克雪トレニングセンター(豊田2丁目)
▽対 象 60歳以上の市民
▽参加料 1チーム(7人以上)1500円
※当日、受付で納入してください。
▽問い合わせ・申込先 3月4日までに、市社会福祉協議会(☎33・1161)、または市ゲートボール協会(☎73・3066)へ。

教室・講座

**第4回ひとやさしい
社会推進セミナー**

仕事と生活の調和のとれた働き方や生き方をするために

くらしの消費者講座

昨年8月27日に開催した講

座では、受講希望者が予定数を上回り、受講できない人がいたため、今回、同じテーマ・内容で講座を開催します。
老後はいつ介護が必要となり、家族と一緒に暮らすことが困難になってしまうか分かりません。また、元気な状態であっても単身生活となり、不安な毎日過ごすことになるかもしれない。
最近では高齢者が入居できる施設が増えていることから、この講座では各種老人施設がどのような場所なのかなど、皆さんが知っておきたい内容について、分かりやすくお話しします。
▽と き 2月25日(金)
午後2時～4時
▽ところ 弘前文化センター(下白銀町)1階会議室
▽テーマ 「老後はどこで暮らしますか？」～各種老人施設の違いについて～
▽講 師 土岐浩一郎さん(青森県介護支援専門員協会副会長)
▽対 象 市民または市内に通勤・通学する人Ⅱ55人(先着順)
▽参加料 無 料
▽問い合わせ・申込先 市民生活センター(☎34・3179)

再就職応援セミナー

「ワークわくわく企業見学(介護職編)」

「仕事に伴う喜びや悩み」「再就職者に求めること」など、現役の介護職員の講話を、コーヒーを飲みながら気楽に聞くことができるセミナーです。

セミナー終了後は講師が勤務する企業の施設見学を行いますので、現場の雰囲気を感じられます。
▽と き 2月25日(金)
午後1時半～3時半
▽ところ 五所川原地域職業訓練センター(五所川原市一ツ谷)2階第2教室
▽講 師 特別養護老人ホーム青山荘介護職員
▽対 象 離職者および非正規雇用労働者などⅡ10人(先着順)
▽受講料 無 料
▽問い合わせ・申込先 申込書に必要事項を記入し、郵送または、ファクスか直接来所(午前10時～午後6時)で、青森県地域共同就職支援センター・弘前コーナー(〒036・8002、駅前3丁目3の1、第2トモビル2階、☎55・0115、ファクス55・0125)へ。

平和都市宣言

市では、核兵器の廃絶と世界平和の実現を願い平和都市宣言をしたので、その内容を紹介します。

▽内容（宣言全文）

平成22年12月17日議決
第二次世界大戦並びに太平洋戦争終戦65年を経た今日もなお、地球上では、局地的な戦争や戦闘行為が続いており、核兵器使用の危険性も含めて戦争を過去のものとする状況は、いまだ生まれていない。

平和を希求する私たちは、あの忌まわしい戦禍を再び引き起こさないためにも、日本国憲法の理念であり、人類共通の切実な念願である世界の恒久平和を願ってやまない。そして、あらゆる国の核兵器の廃絶と世界の平和の実現を切望し、ここに平和都市となることを宣言する。

▽問い合わせ先 総務財政課
法規係（☎35・1110）

夜間・休日納税相談の「」利用を

収納課では、日中や平日に納税相談ができない人のために、夜間・休日納税相談日を設けています。

▽夜間納税相談 2月21日（25日の午後5時15分～7時半）

▽休日納税相談 2月27日の午前9時～午後4時

※毎月第4日曜日は休日納税相談日です。

納期限までに納付できない事情がある人は、未納のままにせず、ぜひ相談においでください。また、この日は電話での相談や、市税などの納付もできます。

▽問い合わせ・受付場所 収納課（市役所2階、窓口205、☎40・7032、40・7033）

「あおもりキャリアセンター」開設

～Uターン就職などを希望する首都圏在住の皆さんへ～

県では、東京都内に「あおもりキャリアセンター」を開設し、首都圏に在住するUターン希望者や団塊世代の人を対象に、専門のコーディネーターが、県内での就職やセカンドライフ実現のための相談に応じています。

▽相談時間 午前11時～午後5時（土・日曜日、祝日、12月29日～1月3日を除く）

▽ところ あおもりキャリアセンター（東京都中央区八重洲2丁目、住友生命八重洲ビル5階、青森県東京ビジネスプラザ内）

※コーディネーターが不在の場合がありますので、事前に電話などで確認することをお勧めします。

▽業務内容 Uターン就職の相談対応／首都圏在住の団塊世代の人へのセカンドライフの相談対応／就農相談対応／無料職業紹介／県内企業および誘致企業の求人情報収集

▽問い合わせ先 あおもりキャリアセンター（☎東京03・3271・0700、EメールA-TOKYO@pref.aomori.lg.jp）

※関連情報については次のホームページにも掲載しています。

○就職関連情報…ワークわくあおもりjobネット（<http://www.aomori-job.net/>）

○団塊世代関連情報…情報あおもりライフ（<http://www.pref.aomori.lg.jp/life/sumai/aomorilife.html>）

有料広告

成年後見制度をご存じですか

～認知症や知的・精神障がいのある人の権利や財産を守るために～

成年後見制度は、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人（本人）の権利や財産を守るためのもので、次の2種類があります。

▽法定後見

既に本人の判断能力が低下している場合に、支援者として家庭裁判所に選ばれた人（成年後見人等）が本人に代わって財産管理をしたり、必要に応じて契約を結んだりします。

預貯金の払い戻しや解約、遺産分割の協議、不動産の売買などに際し、本人に不利益な結果を招かないよう保護・支援します。また、本人が結んだ不利益な契約を取り消すことができる場合もあります。※日常生活の世話や介護などは成年後見人等の職務に含まれません。

▽任意後見

将来、判断能力が衰えたときに備えて、「誰に」「どのような援助をしてもらうか」についてあらかじめ決めておき、判断能力が十分であるうちに契約しておくものです。

【成年後見制度利用支援事業】

成年後見制度（法定後見）を利用する際に必要となる「申立て費用」や「成年後見人等への報酬」を支払うことが困難な場合、その全部または一部を市が助成します。

▽対象 次の①・②両方を満たす人で、成年後見制度の利用が本人の福祉を図るために不可欠と判断された人

①経済的要件 生活保護受給者やそれに準ずると認められる人

②住所要件 弘前市に住所を有し、現に居住する人
※他市町村に住所がある人で、弘前市の介護保険に加入している人は対象になる場合があります。

▽問い合わせ先 福祉総務課総務係（☎40・7037）

職業訓練の受講者募集

【OAビジネス科】

雇用保険を受給できない離職者を対象に、再就職のための職業訓練を実施します。

なお、一定の要件を満たした受講者には、訓練期間中の生活保障として、訓練・生活支援給付金が支給されます。

▽とき 3月30日～6月29日、午前9時10分～午後3時50分

▽ところ J M T C 弘前教室（外崎4丁目）

▽内容 パソコンの基本操

作と各種アプリケーションソフト（エクセル、ワードなど）の操作の習得／ビジネススマナリーやコミュニケーションスキルの習得

▽定員 20人

※申し込み多数の場合は選考となります。また、応募者が少ない場合は中止することがあります。

▽受講料 無料

※別途テキスト代1万1130円が必要。

▽申し込み方法 3月1日までに、弘前公共職業安定所（南富田町）へ。

▽問い合わせ先 弘前公共職業

業安定所（☎38・8609）／J M T C 弘前教室（☎29・1715）

少年少女剣道教室

▽とき 毎週月・水・金曜日の午後4時半～6時

▽ところ 弘前B&G海洋センター（八幡町1丁目）

▽講師 長内淳介さん（範士八段）

▽対象 小学校3～6年生で毎回参加できる人

▽参加料 無料（各自傷害保険などに加入を）

※防具は貸し出します。

有料広告

有料広告



その他

交通災害共済

1日1円で、家族に大きな安心を。家族そろって加入しましょう。

【交通災害共済とは？】

交通災害共済は、交通事故でけがをしたり、死亡したりした場合に、見舞金や弔慰金などが支給される制度です。

平成23年度の交通災害共済加入の受け付けが2月1日から始まりました。毎年加入し

ている人も、これまで加入していなかった人も、万が一に備え、家族そろって加入しましょう。

▽共済期間 4月1日～平成24年3月31日（4月1日以降に加入した場合は、加入した日時からになります）

▽掛け金 1人11350円

▽申込先 市民生活課安全安心対策担当（市役所2階、窓口257、☎35・1102）か岩木・相馬総合支所民生課、各出張所窓口へ。

※市民課駅前分室・城東分室では受け付けできませんので、ご注意ください。

【交通事故に遭ったら…】

交通災害共済に加入している人が、交通事故で1以上の通院や入院をしたり、死亡したりした場合は、見舞金や弔慰金などを請求できます。

▽請求の対象となる交通事故 自動車同士の事故、歩行中に発生した自動車や自転車と

の接触事故、自転車乗車中の転倒による自損事故など

▽請求の対象とならない交通事故 自動車などが関係しない歩行中の事故や作業中の事故（雪道での転倒、雪下ろし作業中の転落など）、無免許運転や飲酒運転による事故、天災（台風や地震など）が原因で発生した事故など

▽共済見舞金など けがで1日以上通院や入院をしたとき

Ⅱ見舞金2万円Ⅲ15万円Ⅳ死亡したときⅡ弔慰金100万円

▽請求期間 交通事故が発生した日から1年以内

▽請求に必要な書類 交通事故証明書、診断書など

※事故によって必要な書類が異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

▽問い合わせ・請求先 市民生活課安全安心対策担当（市役所2階、窓口257、☎35・1102）

有料広告



生きがいセンターの教室

各教室の受講者を募集します。期間はいずれも4月～平成24年3月の1年間です。受講料は無料ですが、教材費が必要な教室もあります。

■ところ 生きがいセンター（南袋町）

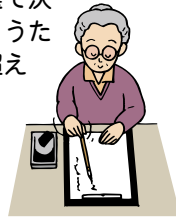
■対象 おおむね65歳以上の市民

■申し込み方法 はがきに住所・氏名・生年月日・電話番号・教室名（1人2つまで。健康料理教室は①または②のいずれか1つ）を記入し、3月1日（当日消印有効）までに、生きがいセンター（〒036・8272、南袋町1の20）へ。電話での申し込みはできません。

※受講希望者が定員を超えた場合は、抽選で決定します。より多くの市民に参加してもらうため、同じ教室での受講が連続して3年を超えない人を優先し、結果は後日通知します。

■問い合わせ先 生きがいセンター（☎38・0848）

※月曜日と祝日の翌日は休館日です。



教室名	主な活動日程	定員
書道教室	毎月第1・3水曜日 午後1時半～3時半	35人
クレヨン画教室	毎月第1・3水曜日 午前10時～正午	40人
日本舞踊教室	毎月第2・4水曜日 午前10時～正午	25人
茶道教室 （表千家立礼）	毎月第1・3木曜日 午前10時～正午	15人
茶道教室 （裏千家）	毎月第2・4木曜日 午前10時～正午	15人
健康料理教室①	毎月第3金曜日 午前10時～午後1時	25人
健康料理教室②	毎月第4金曜日 午前10時～午後1時	25人
健康体操教室	毎月第1・3土曜日 午前10時～正午	25人
歌謡（カラオケ）教室	毎月第2日曜日の午後 3時～5時と毎月第4日 曜日の午後2時～5時	45人
社交ダンス教室	毎月第1・3日曜日 午後1時半～3時半	男性＝15人 女性＝15人

子どもクラブ会員募集

中央公民館では、小・中学生を対象に8つの子どもクラブを開催します。

▽申し込み方法 住所、氏名（ふりがな）、性別、新年度の学校名と学年、希望するクラブ名（複数可）、電話番号、保護者名を記入し、3月18日（必着）までに、はがきやファクスまたはEメールで申し込みを。

■問い合わせ・申込先 中央公民館「子どもクラブ」係（〒036・8356、下白銀町19の4、☎33・6561、ファクス33・4490、Eメール chuoukou@city.hirosaki.lg.jp、火曜日は休館日）

※日程が重ならない複数のクラブに申し込むことができます（優先順位の記入を）。応募者多数の場合は抽選。複数のクラブに選ばれた人は、調整することがあります。参加クラブ決定の通知は3月末を予定。



クラブ名	主な活動日程	内容・対象	会場・参加料
自然観察クラブ	毎月主に第1土曜日 午前10時～正午	野鳥・草木などの観察／小・中学生＝30人	弘前公園ほか／年間1,500円
ミュージカルクラブ	毎月主に第2土曜日 午後1時半～3時半	ミュージカルの練習・発表など／小学校3年生～中学生＝20人	弘前文化センター／年間1,000円
やきものクラブ	毎月主に第2土曜日 午前10時～正午	やきものづくり／小学校3年生～中学生＝36人	弘前文化センター／年間2,000円
科学クラブ	毎月主に第3土曜日 午前10時～正午 ※5月から開始	科学的な実験やマジック、工作など／小学校3年生～中学生＝30人	弘前文化センター／年間3,300円
ラジオ劇団	毎月主に第1土曜日 午後2時～4時	ラジオドラマの制作とアップルウェブ出演／小学校4年生～中学生＝15人	弘前文化センター、まちなか情報センターほか／年間1,000円
ふるさとクラブ	毎月主に第4土曜日 午前10時～正午	昔の遊び、工作、お菓子作りなど／小学生＝30人	弘前文化センター、弘前公園ほか／年間1,500円
小鼓クラブ	毎月主に第1土曜日 午後1時半～3時半	小鼓の打ち方、作法、歌舞伎や日本舞踊の演奏・発表など／小・中学生＝15人	弘前文化センター／無料
天文クラブ	毎月主に第4土曜日 午後7時～9時	天体観測、望遠鏡の操作など／小・中学生＝40人 ※小学校1・2年生は保護者同伴。	星と森のロマンシア、弘前文化センターほか／年間1,000円

有料広告

有料広告

人の動き



Population

・人口（前月比）
183,439人（-6）
・世帯数
70,386世帯（+59）
平成23年1月1日現在（推計）

※平成22年国勢調査要計表速報値
平成22年11月末集計を基礎に算出
男女別の内訳は公表されていません

環境

NEWS NEWS
NEWS NEWS
NEWS NEWS

NEWS NEWS
NEWS NEWS
NEWS NEWS

NEWS NEWS
NEWS NEWS

NEWS NEWS
NEWS NEWS
NEWS NEWS
NEWS NEWS
NEWS NEWS



ひろさき 環境パートナーシップ21 平成22年度活動状況

「ひろさき環境パートナーシップ21
(略称：HEP21)」は、市と環境パー
トナーシップ協定を結び、市民参加を重
視しながら、連携・協働して、さまざま
な環境問題に取り組ん
でいる市民団体です。



平成22年4月11日

蓬萊広場から駅前りんご広場までの、まちかど広場などの清掃を行う「まちかど広場クリーン大作戦」には、保育園児から大人まで120人が参加しました。



平成22年7月24日

スポネット弘前が「だんぶり池観察会」に参加しました。
夜にはホテルも観察して、とても楽しく、勉強になりました。



平成22年11月3日

市教育委員会と共催で、新寺町の報恩寺・袋宮寺を会場に「ひろさきお寺の日」を開催しました。なかなか見るのできない絵巻や仏像などを、間近で見ることができました。

入会しませんか?



ひろさき環境パートナーシップ21には5つのグループがあり、それぞれがテーマを持って活動しています。皆さんも一緒に活動してみませんか。

▽グループ ①生活環境 ②農業環境 ③快適・文化環境 ④自然環境 ⑤地球環境

▽会費 年間1,000円

▽申込先 弘前大学理工学部鶴見研究室（文京町、☎兼ファクス39・3613）／市環境保全課環境保全係（市役所2階、☎40・7035）

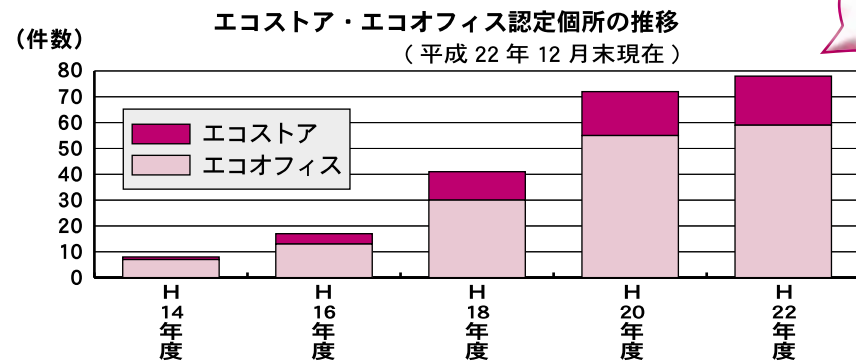


認定制度

エコストア・エコオフィス認定制度は、ごみの減量やリサイクルの推進、省エネルギーなど、環境にやさしい活動を行っている店舗や事務所（会社）をエコストア・エコオフィスとして認定し、その取り組みを応援しているという制度です（市が認定している店舗や事務所は下表のとおり）。

事業者と市民が一緒になって「安全・快適なあずましまち」を実現していくため、あなたの店舗や事務所もエコストア・エコオフィスになってみませんか。申請手数料などは一切掛かりませんので、ぜひ申請を（詳しくは、市のホームページをご覧ください）。

▽問い合わせ先 環境保全課環境保全係（☎ 40・7035）



増えて
ます！



▲エコストア・エコオフィス
認定マーク

●エコストア認定店

1	(株) 弘前事務機器商会
2	パワーデポ弘前店
3	ドコモショップ弘前城東店
4	ドコモショップ弘前安原店
5	マックスバリュ弘前城北店
6	マックスバリュ安原店
7	ユニバース堅田店
8	ユニバース南大町店
9	ユニバース城東店
10	いとくアルカディア店
11	生協コープあおもり和徳店
12	マックスバリュ樋の口店
13	マックスバリュ岩木店
14	ヤマト運輸 (株) 弘前支店 弘前白銀センター
15	ヤマト運輸 (株) 弘前支店 弘前城東センター
16	ヤマト運輸 (株) 弘前支店 弘前城南センター
17	さとちょう浜の町店
18	U マート桔梗野店
19	U マート弘大前店

*表はともに平成 22 年 12 月末現在のものです（登録順）。ピンク色は平成 22 年 1 月以降、新たに認定された店舗・事務所（会社）です。

●エコオフィス認定事務所

1	S・K・K 情報ビジネス専門学校	28	三光化成 (株) 弘前工場
2	(株) 南建設	29	ニッカウヰスキー (株) 弘前工場
3	(株) 伸和産業	30	特別養護老人ホームおうよう園
4	セントラル技研 (株)	31	東光産業 (株) 青森支店
5	東北電力 (株) 弘前営業所	32	(株) 青森ディーディーケイ
6	(株) 装美舎	33	(株) 青森銀行弘前市役所出張所
7	(株) 弘前事務機器商会	34	特別養護老人ホーム白寿園
8	リコー東北 (株)	35	グループホーム はくじゅ
9	青森支社弘前営業部	36	デイサービスセンター白寿園
10	(株) 第一事務機	37	生活支援ハウス 白寿の園
11	(株) ビジネスサービス弘前支店	38	(株) テクノル弘前支店
12	(株) ニチロサンパック青森工場	39	豊産管理 (株) 弘前営業所
13	弘前航空電子 (株)	40	(株) 青森銀行弘前支店
14	丸勘建設 (株)	41	(株) 青森銀行津軽和徳支店
15	(株) 東栄土木工業	42	(株) 青森銀行土手町支店
16	共栄建設 (株)	43	(株) 青森銀行松森町支店
17	(株) タムロン生産本部	44	(株) 青森銀行弘前駅前支店
18	(株) 設備技研オサナイ	45	(株) 青森銀行城東支店
19	(有) エルシィホーム	46	(株) 青森銀行富田支店
20	キャノンプレジジョン (株)	47	(株) 青森銀行堅田支店
21	本社・北和徳事業所	48	(株) 青森銀行桔梗野支店
22	キャノンプレジジョン (株)	49	(株) 青森銀行亀甲町支店
23	北和徳第二事業所	50	(株) 青森銀行松原支店
24	キャノンプレジジョン (株)	51	(株) 青森銀行城西出張所
25	石渡事業所	52	(株) 青森銀行城南出張所
26	(株) 弘前水道	53	(株) アベックス弘前営業所
27	オリンパスメディカルサイエンス販売 (株) 弘前営業所	54	音羽電機工業 (株) 弘前工場
28	(株) 日立ソリューションズ	55	(株) 東管サービス
29	北日本事業所	56	(株) 大成コンサル
30	北星交通 (株)	57	日本パルスモーター (株) 岩木工場
31	(株) キタコン	58	身体障害者療護施設 千年園
32		59	北村技術 (株)

ごみの減量化



家庭から出る「燃やせるごみ」のうち、古紙や生ごみはできるだけリサイクルし、「燃やせるごみ」に出さないことで、ごみの減量化に努めましょう。

再生資源回収運動

報償金を交付しています

再生資源回収運動は、町会や子ども会、PTAなどの団体が回収の日時・場所を決め、家庭から出される古紙類などの資源を資源回収業者に引き取ってもらう自主的なリサイクル活動です。

このような活動がごみの減量化・資源化につながることから、市は、回収運動を行った団体に、回収量に応じて報償金（平成 22 年度は回収量 1 kg 当たり 4 円）を交付しています。実施を希望する団体はお問い合わせください。

▽問い合わせ先 環境保全課リサイクル推進係（☎ 35・1130）



新聞紙や雑誌がみなど

回収ステーションを設置しています

古紙のリサイクルを進めるため、市では新聞紙や雑誌がみ類の回収ステーションを市内 5 か所に設置し、誰でも自由に持ち込めるようにしています。▽持ち込める雑誌がみ類 雑誌、書籍、ノート、ハガキ、封筒、コピー用紙、ポスターなど ※折り込みチラシなどは、新聞紙と一緒に束ねて出してください。

▽問い合わせ先 環境保全課リサイクル推進係（☎ 35・1130）

また、事業者・民間団体などによる古紙リサイクルエコステーション（下表参照）もご利用ください。

設置場所	利用日・時間	回収古紙	設置者
市役所本庁舎中庭駐車場（上白銀町 1 の 1） 総合学習センター正面玄関横（末広 4 丁目 10 の 1） 土手町分庁舎玄関向かい（土手町 154 の 1、市立病院向かい） 岩木庁舎西側駐車場裏（賀田 1 丁目 1 の 1） 相馬庁舎正面玄関横（五所字野沢 41 の 1）	毎日 午前 10 時～午後 8 時	新聞紙（折り込みチラシを含む）、雑誌、雑誌がみ	生活協同組合コープあおもり
ローソン和徳町店（和徳町 95 の 1）	毎日 午前 8 時～午後 5 時	新聞紙（折り込みチラシを含む）、雑誌、雑誌がみ、ダンボール	特定非営利活動法人 NPO もったいない弘前
健康温泉桃太郎（新里字下樋田 66 の 1）	毎日 午前 10 時～午後 8 時	新聞紙（折り込みチラシを含む）、雑誌、雑誌がみ、ダンボール	特定非営利活動法人 NPO もったいない弘前

▽持ち込み可能時間 午前 9 時～午後 5 時
▽注意事項 いずれの回収ステーションも、12 月 29 日～1 月 3 日は持ち込みができません。また、土手町分庁舎の回収ステーションは、毎週月曜日も持ち込みができません。

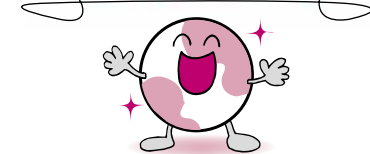
生ごみの減量化

ごみになるべく出さない工夫を

生ごみは堆肥（たいひ）化するなどして、「燃やせるごみ」に出さないようにしましょう。
○堆肥化容器（町会連合会のあっせん補助あり）を利用して、生ごみを堆肥化
○ダンボールコンポストを利用して、生ごみを堆肥化
※ダンボールコンポストの作り方は、環境保全課（市役所 2 階）で配布している最新の「ごみ分別ガイドブック」や、市のホームページに掲載しています。
○燃やせるごみに出すときは、十分に水切りをする

カラス被害のないきれいな

まちにしよう



市では町会に対し、ごみのステーション（集積所）に利用するネット（防鳥ネット〈黄色・緑〉）を貸し出していますが、ネットがきちんと使用されていない場所は、その効果がなく、カラスの被害が絶えないようです。生ごみ（燃やせるごみ）を出した後は、ごみ袋全体を包むようにネットを掛けましょう。また、収集日以外に出されたごみは収集されないため、カラスの格好の餌となります。ルールをきちんと守りましょう。





地球に
いいこと
始めよう！



イメージキャラクター
「エコまる」

環境省 こどもエコクラブ

市では、環境省が企画する「こどもエコクラブ」の会員を募集しています。
▽問い合わせ・申込先 環境保全課環境保全係（市役所2階、☎40・7035）

こどもエコクラブとは

幼児（3歳～）から高校生まで
なら誰でも参加できる環境活動の
クラブです。

どんなことをするの？

子どもたちの興味や関心に合
わせて、自然観察・調査やリサイ
クル活動など、家庭・学校・地域
の中で身近にできる地球にやさしい
活動に自由に取り組みます。

クラブの形態と活動

こどもエコクラブには、いろいろな形態があります。仲間が集まればど
んな形態でも、こどもエコクラブとして登録し、活動を始めることができます。

例えば

近所で・・・近所のお友達、兄弟姉妹、親せきなど

学校で・・・幼稚園、学校の全校生徒、クラス、クラブ、委員会、有志など

施設で・・・児童館、公民館、保育所（園）、放課後クラブなど

現在活動中の仲間たち

HEP 21 エコクラブ
りんごっこクラブ（宮館児童館）
なえっこクラブ（蒔苗児童館）
ちょぼラ隊（大和沢児童館）
コウノトリ（三和児童館）
新和児童館エコクラブ
薬師堂児童館エコクラブ
おしろっこクラブ（堀越児童館）
弘前保育所エコクラブ
大浦 ecokids クラブ（大浦保育所）
ちびっこエコクラブ（鳥井野保育所）
百沢保育所エコクラブ
星の子どもエコクラブ（相馬保育所）
草薙児童館エコクラブ
自得児童館クリーンアタック隊
新寺町児童館こどもエコクラブ
タカスギズ（西部児童センター）
小友児童館青空エコクラブ
大谷エコクラブ（大谷幼稚園）
みどりエコクラブ（みどり保育園）
こどもの城クラブ（こどもの城保育園）
サン保育園エコクラブ

*平成22年12月末現在。登録順。

登録から活動まで

1 仲間を集めよう…2人以上の仲間と、活動を支える大人（サポーター）を
集めます。

2 登録しよう…こどもエコクラブ事務局（市役所2階、環境保全課内）に登録用紙を提出します。登録用紙は、こ
どもエコクラブのホームページ（<http://www.ecoclub.go.jp>）からダウンロードできます。

★年間を通じていつでも登録ができ、活動を始められます。登録料・年会費などの費用は掛かりません。登録すると、
活動に役立つキット（活動ファイルなど）がもらえます。

3 活動開始！…身近な地域で、自分たちで考え、環境活動に取り組みます。

4 活動を報告…活動の報告を事務局に提出します。＊提出は自由です。

■このほか、活動報告の提出に応じたプレミアムグッズの抽選やこどもエコクラブ全国事務局のウェブサイトによる
情報提供、活動報告掲載の場などもあります。詳しい情報は、こどもエコクラブのホームページをご覧ください。

環境出前講座のお知らせ



市では、ごみの減量化や地球温暖化防止のた
めに、次のメニューで出前講座を行っています。

皆さんが知りたいこと、学びたいことを、保
育園児からお年寄りまで、分かりやすくお知ら
せしていますので、一度受講してみませんか。

【環境出前講座メニュー】

①分別ごみとリサイクル

▽内 容 ごみ収集の現状（分別ごみのゆくえ、
ダンボールコンポストの活用など）

②地球温暖化とくらし

▽内 容 地球温暖化による問題と、わたした
ちにできること

③クイズで楽しくエコライフ！

▽内 容 地球温暖化について、クイズで楽し
く学習

■問い合わせ先 講座の内容について…環境保
全課（☎40・7035）／申し込みについて…広
報広聴課（☎35・1194）